Dell™ E2009W/E2209W フラットパネルモニタユーザーズガイド

注、注記および注意

注意： 注は、コンピュータをよりよく使いこなすための重要な情報を表します。

注記： モニタが正常に作動しない場合、特に異常な音や臭いが発生する場合は、ただちに電源プラグを抜いて、 デル テクニカルサポート に連絡してください。

注意： 注意は、材質破損、身体の怪我、または死につながる可能性を示します。

Model E2009Wt,E2009Wf, E2209Wf, E2209Wc.

2008年 9月 Rev. A00

[目次ページに戻る](#)

製品の特徴

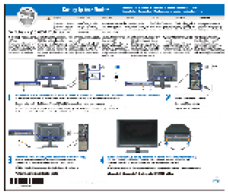
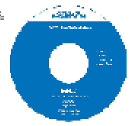
Dell™ E2009W / E2209W フラットパネルモニタユーザーズガイド

同梱されているもの

モニターには次のコンポーネントが付属しています。コンポーネントがすべて揃っていることを確認します。足りないコンポーネントがある場合は、デルまでご連絡ください。

注意: オプションのアイテムによってはモニターに付属していないことがあります。また、機能やメディアによっては特定の国で使用できないことがあります。

	• スタンド付きモニター
	• 電源ケーブル
	• VGA ケーブル
	• DVI ケーブル
	• ドライバとドキュメント メディア • クイックセットアップガイド • 安全情報

製品の特徴

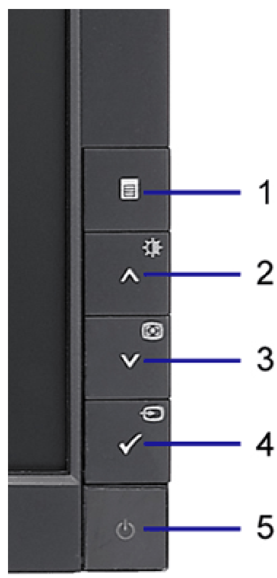
Dell™ E2009W/E2209W フラットパネルディスプレイにはアクティブマトリックス、薄膜トランジスタ(TFT)、液晶ディスプレイ(LCD)が搭載されています。モニタには、以下が含まれます。

- **E2009W:**20インチ(508 mm)表示可能領域のディスプレイ。
- **E2209W:**22インチ(558.68 mm)表示可能領域のディスプレイ。
- 1680 x 1050解像度、さらには低い解像度の場合は全画面サポート。
- 広い表示角度により、座った位置からでも立った位置からでも、または横に動きながらでも見ることができます。
- 傾き調整機能。
- システムでサポートされている場合、プラグアンドプレイ機能。
- オンスクリーンディスプレイ(OSD)調整で、セットアップと画面の最適化が容易。
- ソフトウェアとマニュアルCDには、情報ファイル(INF)、画像カラーマッチングファイル(ICM)、および製品マニュアルが含まれています。
- 省エネ機能（エネルギースターに準拠)。
- アセットマネージメント対応

部品とコントロールの確認

正面図

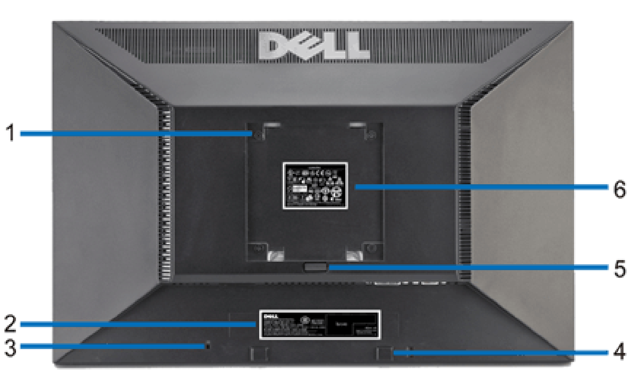

正面図



前面パネルのコントロール

1	OSDメニューボタン
2	アップボタン
3	ダウンボタン
4	OKボタン
5	電源ボタン

後方図





後方図　　背面図(モニタのスタンド付き)

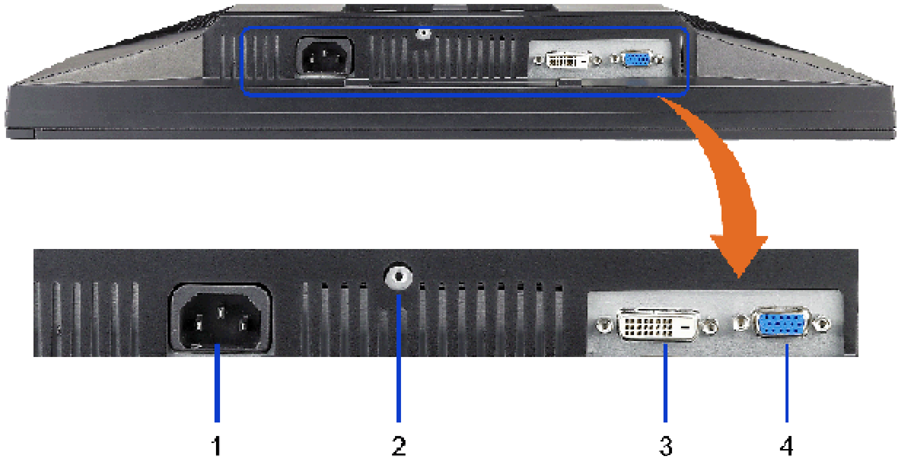
	ラベル	説明
1	VESA 対応取付穴（100mm） （取り付けられた VESA 対応プレートの後ろにあります）	これを使って、モニターを取り付けます。
2	バーコード・シリアル番号ラベル	Dellのテクニカルサービスに問い合わせが必要な場合は、このラベルを参照してください。
3	セキュリティ・ロック・スロット	スロットのあるセキュリティ・ロックを使用して、モニターを固定します。
4	Dellサウンドバー取付ブラケット	オプションのDellサウンドバーを取り付けます。
5	スタンド取外しボタン	押して、スタンドを取り外します。
6	規制定格ラベル	規制承認を表示します。
7	ケーブル管理ホール	穴に通して、ケーブルを束ねやすくします。

側面図


左側面


右側面

底面図



底面図

ラベル	説明
1	AC電源コードコネクタ
2	スタンドロック
3	DVIコネクタ
4	VGAコネクタ

モニター仕様

フラットパネル仕様

モデル	**E2009W**	**E2209W**
スクリーン・タイプ	有効マトリックス - TFT LCD	有効マトリックス - TFT LCD
パネルタイプ	TN	TN
画面寸法	20インチ（20インチ表示可能画像サイズ）	22インチ（22インチ表示可能画像サイズ）
事前設定ディスプレイ領域：		
水平	433.44 mm (17.06 インチ)	473.76 mm (18.7 インチ)
垂直	270.90 mm (10.67 インチ)	296.1 mm (11.7 インチ)
ピクセル·ピッチ	0.258 mm	0.282 mm
表示角度	160°(垂直) タイプ、 170°(水平) タイプ	160°(垂直) タイプ、 170°(水平) タイプ
ルミナンス出力	300 CD/m ²(タイプ)	300 CD/m ²(タイプ)
コントラスト比	1000 ～ 1 (タイプ)	1000 ～ 1 (タイプ)
面板コーティング	ハードコーティング3Hでの遮光	ハードコーティング3Hでの遮光
バックライト	CCFL (4) エッジライト・システム	CCFL (4) エッジライト・システム
応答時間	5ms一般	5ms一般
色域(標準)	85%*	85%**

* E2009W 色域(標準)はCIE1976 (85%)およびCIE1931 (72%)テスト基準に基づいています。

** E2209W 色域(標準)はCIE1976 (85%)およびCIE1931 (72%)テスト基準に基づいています。

解像度仕様

モデル	**E2009W/E2209W**
水平走査幅	30KHz～83HKｚ（自動）
垂直走査幅	56Hz～75Hz（自動）
事前設定の最適解像度	60Hzで1680 x 1050
事前設定の最高解像度	60Hzで1680 x 1050

ビデオサポートモード

モデル	**E2009W/E2209W**
ビデオ表示機能（**DVI**再生）	480i/480p/576i/576p/720p/1080i/1080p (HDCP のサポート)

事前設定ディスプレイ・モード

ディスプレイ･モード	水平周波数（kHz)	垂直周波数（Hz)	ピクセル･クロック（MHz）	同期極（水平/垂直）
VESA, 720 x 400	31.5	70.0	28.3	-/+
VESA, 640 x 480	31.5	60.0	25.2	-/-
VESA, 640 x 480	37.5	75.0	31.5	-/-
VESA, 800 x 600	37.9	60.0	40.0	+/+
VESA, 800 x 600	46.9	75.0	49.5	+/+
VESA, 1024 x 768	48.4	60.0	65.0	-/-
VESA, 1024 x 768	60.0	75.0	78.8	+/+
VESA, 1152 x 864	67.5	75.0	108.0	+/+
VESA, 1280 x 1024	64.0	60.0	135.0	+/+
VESA, 1280 x 1024	80.0	75.0	135.0	+/+
VESA, 1680 x 1050	65.2	60.0	146.3	-/+
VESA, 1680 x 1050	64.6	60.0	119.0	+/-

電気的仕様

モデル	**E2009W/E2209W**
ビデオ入力信号	デジタル DVI-D TMDS、50オーム入力インピダンスで各微分線、正電極に対して600mV HDMI TMDS、それぞれの差動ラインに対して 600mV、50 オーム入力インピーダンスで肯定極性または差動ペアあたり 100Ohm
AC入力電圧/周波数/電流	100 ～ 240 VAC / 50 または 60 Hz ± 3 Hz / 1.5 A
インラッシュ電流	120V:30A (最大) 240V:60A (最大)
電源装置	LA65NS1-XX(Dell Inc.製)

物理特性

モデル	**E2009W**	**E2209W**
コネクタ･タイプ	15-pin D-subミニ、青コネクタ、DVI-D、白コネクタ	15-pin D-subミニ、青コネクタ、DVI-D、白コネクタ
信号ケーブル・タイプ	デジタル： デジタル：取り外し可能、 DVI-D 、固定ピン、モニタから取りはずして出荷 アナログ: 取外可能、D-Sub、15pins、出荷時はモニターに取付	デジタル： デジタル：取り外し可能、 DVI-D 、固定ピン、モニタから取りはずして出荷 アナログ: 取外可能、D-Sub、15pins、出荷時はモニターに取付
寸法（スタンド付き）		
高さ	14.96 inches (380.0 mm)	16.01 inches (406.7 mm)
幅	18.5 inches (470.0 mm)	20.13 inches (511.2 mm)
奥行き	6.24 inches (158.5 mm)	6.44 inches (163.9 mm)
寸法（スタンドなし）		
高さ	12.1 inches (310.0 mm)	13.15 inches (334.0 mm)
幅	18.5 inches (470.0 mm)	20.13 inches (511.2 mm)
奥行き	2.76 inches (70.0 mm)	2.54 inches (64.5 mm)
スタンド寸法		
高さ	11.34 inches (288.0 mm)	12.39 inches (314.7 mm)
幅	10.26 inches (260.5 mm)	10.47 inches (265.9 mm)
奥行き	6.24 inches (158.5 mm)	6.44 inches (163.7 mm)
重さ		
重さ（パッケージ含む）	14.15 lbs (6.42 kg)	16.76 lbs (7.62 kg)
重さ（スタンド・アセンブリとケーブル含む）	10.80 lbs (4.90 kg)	13.16 lbs (5.98 kg)

重さ（スタンド・アセンブリなし） （壁取付またはVESA取付用 - ケーブルなし）	8.10 lbs (3.68 kg)	11.92 lbs (5.41 kg)
スタンド・アセンブリの重さ	2.64 lbs (1.20 kg)	2.73 lbs (1.24 kg)

環境特性

モデル	**E2009W/E2209W**
温度：	
運転時	5°～ 35°C (41° ～ 95° F)
運転停止時	ストーレッジ： 出荷時 -20° to 60° C (-4° to 140° F) -20° ～ 60° C (-4° ～ 60.00° C)
湿度：	
運転時	10%～80%（結露しないこと）
運転停止時	ストーレッジ： 5%～90%（結露しないこと） 出荷時： 10%～80%（結露しないこと）
高度：	
運転時	3,657.6m (12,000 ft) 最大
運転停止時	12,192 m (1,219,200.00 cm) 最大
熱発散	256.08 BTU/時 (最大) 153.6 BTU/時 (一般)

電源管理モード

ESAのDPM™互換ディスプレイカードまたはソフトウェアがPCにインストールされている場合、モニタは不使用時電力消費を自動的に低減します。 これは電力節約モードと呼ばれます。 コンピュータがキーボードやマウスといった入力デバイスから入力を検出ｓるうと、モニタは自動的に機能を回復します。 この自動電力節約機能の電力消費と信号規格は以下の表の通りです:

E2009W

VESAモード	水平同期	垂直同期	ビデオ	電源インジケータ	電源消費
通常運転	有効	有効	有効	青	38W（一般）/43W（最大）
無効モード	無効	無効	空白	黄色	2W以下
スイッチを切る	-	-	-	オフ	1W以下

E2209W

VESAモード	水平同期	垂直同期	ビデオ	電源インジケータ	電源消費
通常運転	有効	有効	有効	青	40W（一般）/45W（最大）
無効モード	無効	無効	空白	黄色	2W以下
スイッチを切る	-	-	-	オフ	1W以下

OSD は通常操作モードでのみ機能します。[メニュー]または[プラス]ボタンをアクティブオフモードで押すと、次のメッセージのどれかが表示されます。

アナログ入力イン省電力モード。コンピュータの電源ボタンまたはキーボードかマウスの任意のキーを押すます。
または
デジタル入力イン省電力モード。コンピュータの電源ボタンまたはキーボードかマウスの任意のキーを押すます。

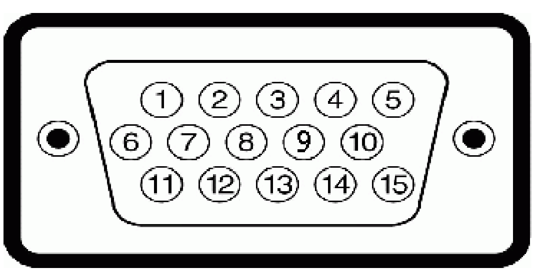
コンピュータとモニタをオンにして、OSDにアクセスします。

注意: 本モニターは、**ENERGY STAR**®-準拠で、TCO '99/TCO '03 電源と互換性があります。

* オフモードでのゼロ電源消費は、モニターからのメインケーブルを外してはじめて、有効になります。

ピン割当

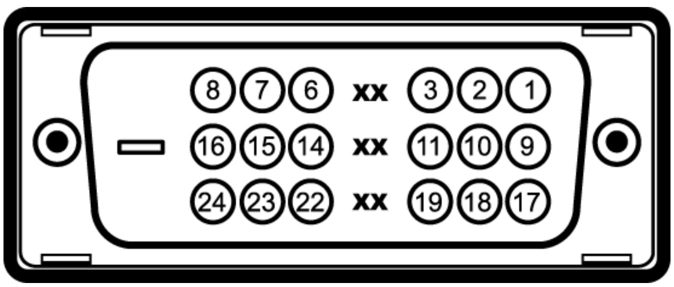
VGAコネクタ



ピン番号 **15-pin**側面信号ケーブルのモニター側面

1	ビデオ - 赤
2	ビデオ - 緑
3	ビデオ - 青
4	GND
5	自己テスト
6	GND-R
7	GND-G
8	GND-B
9	DDC +5V
10	GND
11	GND
12	DDCデータ
13	H-同期
14	V-同期
15	DDCクロック

DVIコネクタ



ピン番号	**24-pin**側面信号ケーブルのモニター側面
1	T.M.D.S. データ2-
2	T.M.D.S. データ2+
3	T.M.D.S. データ2シールド
4	接続なし
5	接続なし
6	DDCクロック
7	DDCデータ
8	接続なし
9	T.M.D.S. データ1-
10	T.M.D.S. データ1+
11	T.M.D.S. データ1シールド
12	接続なし
13	接続なし
14	+5V電源
15	自己テスト
16	ホットプラグ検出
17	T.M.D.S. データ0-
18	T.M.D.S. データ0+
19	T.M.D.S. データ0シールド
20	接続なし
21	接続なし
22	T.M.D.S. クロックシールド
23	T.M.D.S. クロック+
24	T.M.D.S. クロック -

プラグアンドプレイ機能

プラグ・アンド・プレイ互換システムで、モニターをインストールすることができます。 モニターがディスプレイ・データ・チャンネル（DDC）プロトコルを使って、コンピュータシステムに拡張ディスプレイ特定データ（EDID)を自動的に提供するため、システムが、自己設定により、モニター設定を最適化します。ほとんどのモニタの据付は自動です。 必要な場合は、違う設定を選択できます。 モニタ設定の変更の詳細については、「モニタの操作」を参照してください。

LCDモニタの品質と画素ポリシー

LCDモニタ製造プロセスの間、1つ以上の画素が不変状態で固定されるのは珍しい状況ではありません。きわめて小さな暗いまたは明るい変色スポットとして、固定画素が表示されるだけです。

ほとんどの場合、これらの固定画素が見えることはめったになく、ディスプレイの品質または使い勝手を損なうものではありません。1～5の固定画そのあるディスプレイは正常であり、基準内に入ってい るとみなされています。詳細については、Dellサポートサイト :**support.dell.com**を参照してください。

保守のガイドライン

モニターを清掃する

警告: モニターの清掃前には、 安全指示書を読み、従ってください。

警告: モニターの清掃前には、電源コンセントからモニター電源ケーブルを外してください。

ベストプラクティスを実現するために、モニタを開梱、洗浄、または操作している間、以下のリストの指示に従ってください。

- 静電気防止スクリーンを清掃するには、柔らかい、きれいな布を水で軽く湿らせてください。 できれば、特殊スクリーン清掃ティッシュまたは静電気防止コーティングに適して溶液を使用してください。 ベンゼン、シンナー、アンモニア、研磨クリーナー、または圧縮空気は使用しないでください。
- ぬるま湯で軽く湿らせた布を使用して、モニタを洗浄します。合成洗剤によりモニタの乳白色のフィルムがはがれるこｋとがあるため、合成洗剤の使用は避けてください。
- モニタの梱包を開けている間に白いパウダーにお気づきになりましたら、布で拭き取ってください。
- 暗色系モニタは明色系モニタよりも傷がつきやすく、傷が白く目立ちやすいので、注意深く取り扱ってください。
- モニタの最高の画像品質を保てるように、ダイナミックに変化するスクリーンセーバーを使用し使用しないときはモニタの電源をオフにしてください.

目次ページに戻る

[目次ページに戻る](#)

モニタのセットアップ

Dell™ E2009W/E2209W フラットパネルモニタユーザーズガイド

スタンドを取り付ける

注意: スタンドは、モニターから取り外した状態で工場から出荷されます。



平らな面にスタンドを置き、以下のステップに従ってモニタスタンドを取り付けてください。

□□□ モニタ背面の溝をスタンド上部の2つのタブに合わせます。
□□□ モニタの取り付け領域がパチッと留まるか、スタンドにロックされるまで、モニタを下げます。

モニタの接続

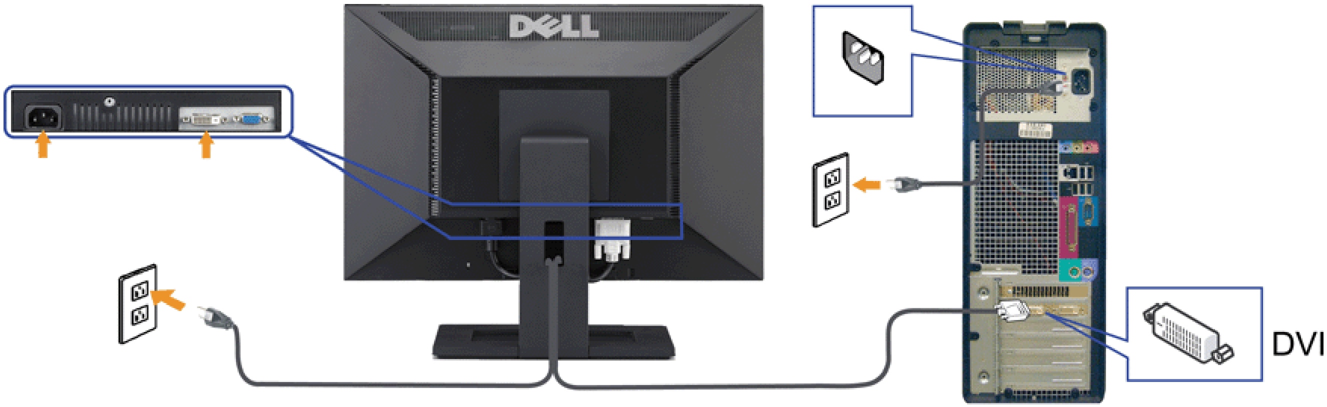
⚠ **警告:** このセクションで手続きをはじめる前に、 安全指示書 にしたがってください。

モニタをコンピュータに接続するには、次のステップ/指示を実行してください。

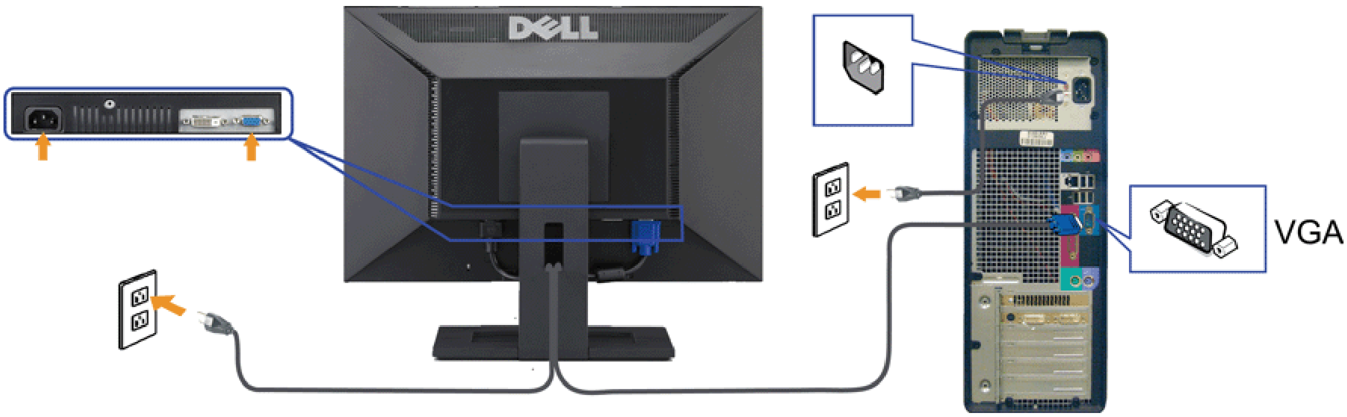
□□□ コンピュータの電源をオフにして、電源ケーブルを外します。

□□□ 白い(デジタルDVI-D)または青い(アナログVGA)ディスプレイコネクタケーブルのどちらかをコンピュータ背面の対応するビデオポートに接続します。両方のケーブルを同じコンピュータで使用しないでください。2台の異なるコンピュータが適切なビデオシステムに接続されているときのみ、両方のケーブルを使用します。

白い DVI ケーブルの接続



青い VGA ケーブルの接続



注意: 画像は、実例を示す目的で使用されます。コンピュータの外観は異なることがあります。

ケーブルの整理



モニターおよびコンピュータに必要なケーブルすべてを取り付けた後、(ケーブルの取り付けについては、 モニターを接続する を参照してください) 上記のとおり、ケーブル・ホールダを使って、すべてのケーブルを適切に調整します。

サウンドバーの取り付け(オプション)



注記： Dell サウンドバー以外のデバイスと一緒に使用しないでください。

1. モニター背面から、2つのスロットをモニター背面の下部沿いにある2つのタブに合わせながら、サウンドバーを取り付けます。
2. サウンドバーが所定の位置にはめ込まれるまで、サウンドバーを左側にスライドさせます。
3. サウンドバーと電源ブリックを接続します。
4. 電源ブリックの電源ケーブルを近くのコンセントに接続します。
5. サウンドバー背面から出る黄緑色のミニステレオプラグを、コンピュータのオーディオ出力ジャックに挿入します

スタンドを取り外す

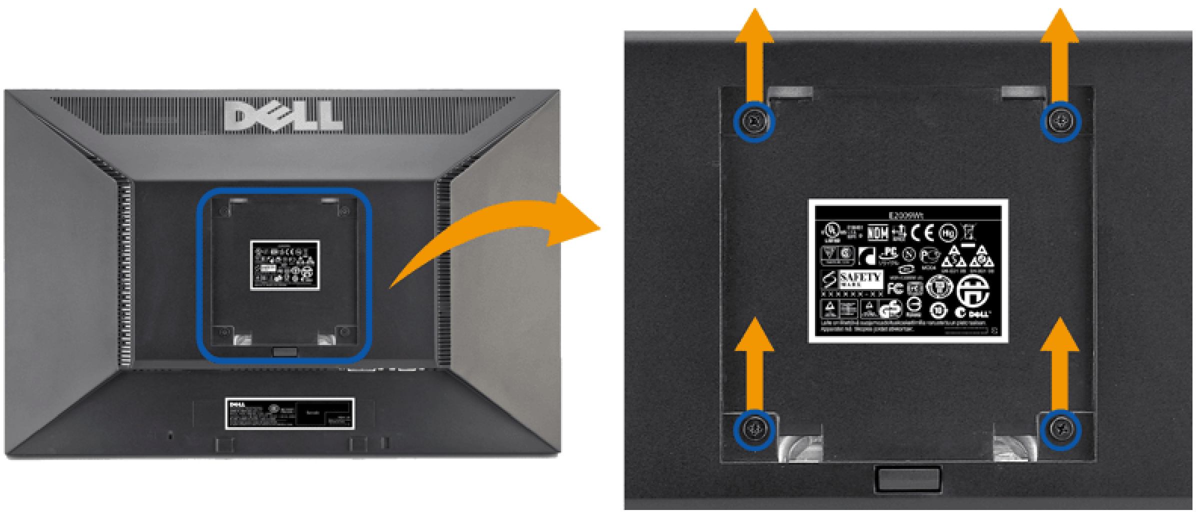
注意: スタンドを取り外している間に LCD 画面に傷が付かないように、モニタがきれいな表面に配置されていることを確認してください。

スタンドの取り外し方:



□□□ スタンドリリースボタンを押し下げます。
□□□ スタンドを持ち上げ、モニタから離します。

壁取り付け（オプション）



（ねじ寸法: M4 x 10mm）

VESA 対応ベース取り付けキットに同梱されている説明書を参照してください。

□□□　　安定した平らなテーブルに柔らかい布を広げて、その上にモニターパネルを置きます。

□□□　　スタンドを取り外します。

□□□　　スクリュードライバーを使って、プラスチックカバーを固定している 4 本のねじを取り外します。

□□□　　壁取り付けキットの取付ブラケットを LCD に取り付けます。

□□□　　ベース取り付けキットに同梱されている説明書に従って LCD を壁に取り付けます。

注意: 最小質量/負荷容量 4.36kgの UL（expand UL） 規格壁取付ブラケットを使用する場合のみ。

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

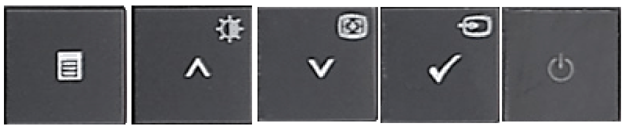
モニタの操作

Dell™ E2009W / E2209W フラットパネルモニタユーザーズガイド

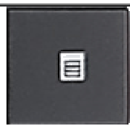
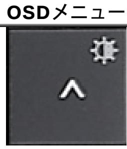
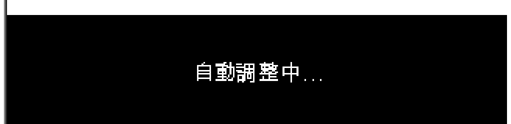
- [前面パネルコントロールの使用](#)
- [オンスクリーンディスプレイ(OSD)の使用](#)
- [最適解像度を設定する](#)
- [Dellサウンドバー（オプション）を使う](#)
- [チルトを使う](#)

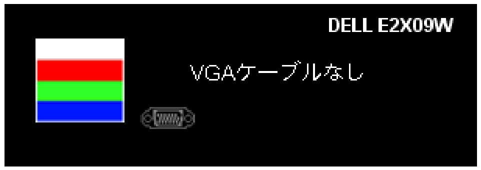
前面パネルコントロールの使用

モニター前面のコントロールボタンを使用して、表示されている画像の特性を調整します。これらのボタンを使用してコントロールを調整するとき、OSDが変更される特性の数値を示します。



A　B　C　D　E

前面パネルボタン		説明
A	 **OSD**メニュー	MENU(メニュー)ボタンを使用してオンスクリーンディスプレイ(OSD)を起動し、OSDメニューを選択します。「 [メニューシステムにアクセスする](#)」を参照してください。
B	 明るさ **/** コントラストホットキー	このボタンを使って、「明るさ/コントラスト」メニューに直接アクセスしたり、選択したメニューオプションの値を上げます。
C	 自動調整	「自動調整」を使って、自動設定/調整を有効にしたり、選択したメニューオプションの値を下げます。 「自動調整」を使って、モニターを入力ビデオ信号に合わせて自動調整します。「自動調整」を使った後は、「ディスプレイ設定」にあるピクセルクロックコントロールとフェーズコントロールを使ってモニターを調整できます。 モニターが現在の入力に合わせて自動調整されると、ブランク画面に次のダイアローグが表示されます:  注意: 多くの場合、「自動調整」で設定用の最適な画像にすることができます。 注意: 「自動調整」オプションを使うことができるのは、アナログ（VGA）コネクタを使っている場合だけです。
D		このボタンを使って、入力ソースを選択したり、OSD メニューオプションを選択します。 [入力ソース] ボタンを使って、モニターに接続されている 2 つの異なるビデオ信号の 1 つを選択します: • VGA 入力 • DVI-D 入力

	OK / 入力ソースの選択	VGAと DVI ケーブル両方をPC 1 台に接続する場合、ビデオ信号が VGA または DVI 出力のこちらかにある限り、このモニタに、自動的に画像が表示されます。PC2台に接続されたディスプレイ上で、両方のスクリーンセーバーに同じ時間を設定します。マウスをはじめに動かしてビデオ入力すると、ディスプレイが作動します。 入力を切り替えると、現在選択されている入力ソースを説明する次のメッセージが表示されます。画像が表示されるまで 1 ～ 2 秒掛かります。  または   または  VGAまたはDVI-D入力が選択されているがVGAとDVI-Dケーブルが接続されていない場合、以下のような浮動ダイアログボックスが表示されます。  または 
E	 電源ボタン **(電源ライトインジケータ付き)**	電源ボタンを使って、モニターをオンおよびオフにします。 青いライトは、モニタの電源がオンで、完全に機能していることを示しています。黄色のLEDは、DPMS電源セーブ・モードを表します。

オンスクリーンディスプレイ(OSD)の使用

メニューシステムへのアクセス

注意: 設定を変更し、別のメニューに進むか、またはOSDメニューを終了する場合、モニターは、その変更を自動的に保存します。変更は、設定を変更し、OSDメニューが消えるのを待つ場合も保存されます。

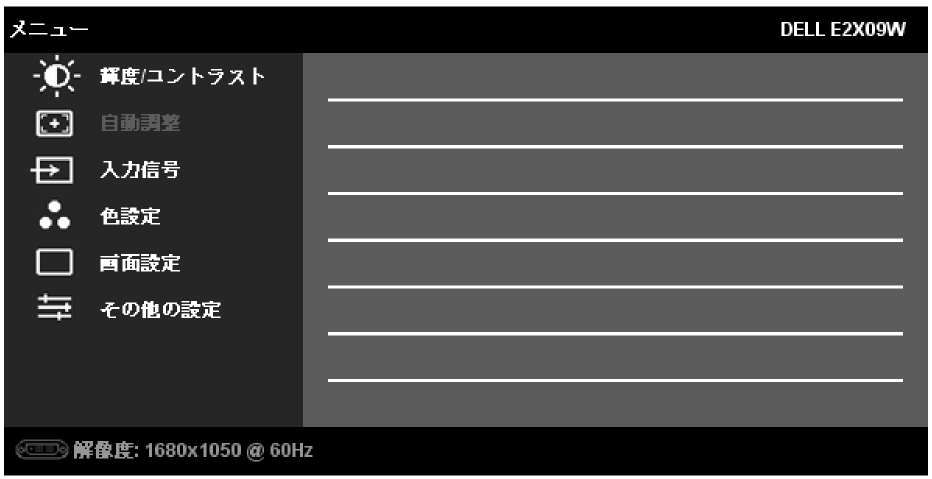
1. メニューボタンを押して、OSDメニューを開き、メインメニューを表示します。

アナログ（**VGA**）入力用メインメニュー



または

デジタル（**DVI-D**）入力用メインメニュー



注意: 自動調整 は、アナログ (VGA) コネクタを使用しているときのみ、利用可能です。

2. および ボタンを押して、設定オプションを移動します。 アイコンからアイコンに移動するときに、オプション名をハイライトします。 モニター用に利用できるオプションすべての完全リストは、下表を参照してください。

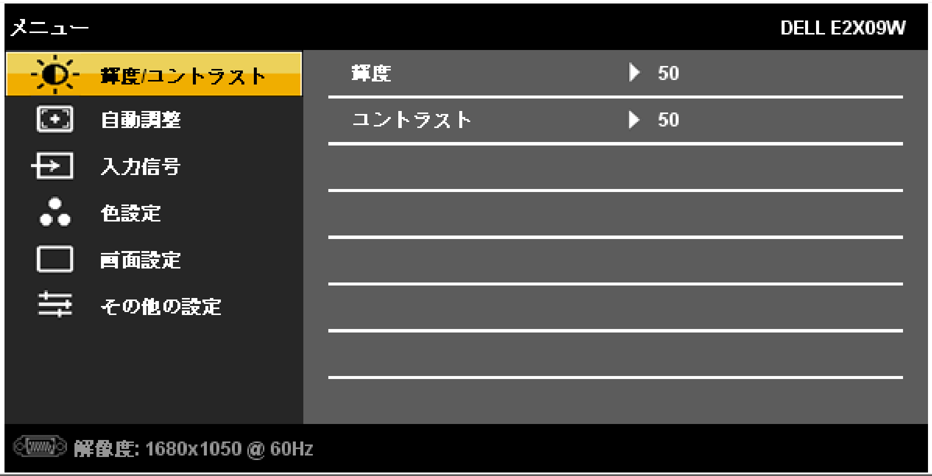
3. ボタンを 1 回押して強調表示されたオプションを有効にします。

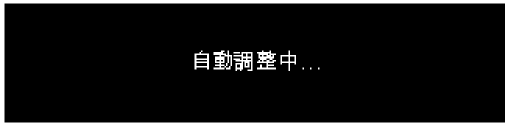
4. および ボタンを押して、必要なパラメータを選択します。

を押して、スライドバーを入力し、次に、メニュー上のインジケータにしたがって、 および ボタンを使って、変更します。

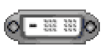
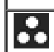
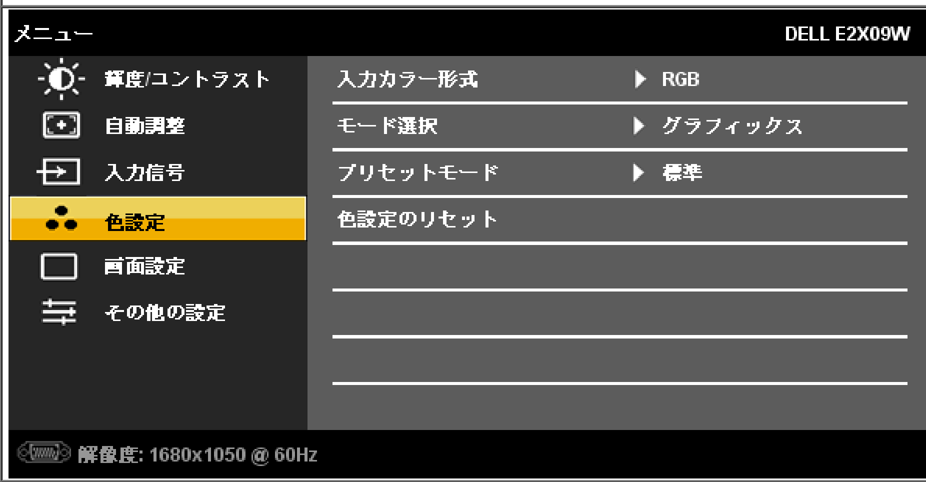
6. メインメニューに戻ってその他のオプションを選択するには、 [メニュー] ボタンを 1 回押します。OSD メニューを終了するには、[メニュー] ボタンを 2 ～ 3 回押します。

アイコン	メニューおよびサブメニュー	説明
	明るさ&コントラスト	このメニューを使って、明るさ/コントラスト調整を有効にします。

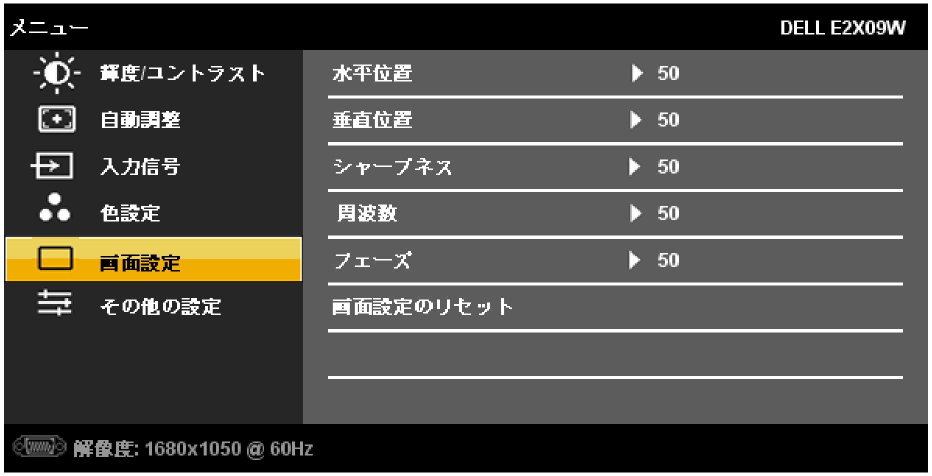
		
	戻る	を使ってメインメニューに戻ります。
	明るさ	明るさで、バックライトのルミナンスを調整します。 ボタンを押して明るさを上げるか、-ボタンを押して明るさを下げます（最小0～最大100）。
	コントラスト	最初に 明るさを調整し、さらに調整が必要な場合のみ、次に コントラストを調整します。 ボタンを押してコントラストを上げるか、-ボタンを押してコントラストを下げます（最小0～最大100）。 「コントラスト」機能で、モニタ画面の暗さと明るさの程度を調整します。
	ニューの終了	を押してOSDメインメニューを終了します。
	自動調整	コンピュータで、起動時にモニターを認識している場合でも、自動調整機能で、特定設定に使う表示設定を最適化できます。

<table>
<tr><td></td><td></td><td>

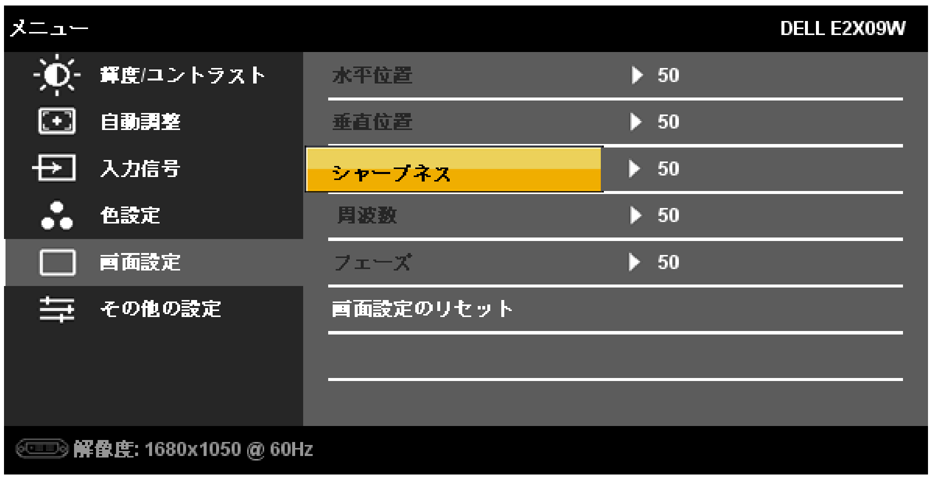
注意: ほとんどの場合、自動調整で、設定に最適な画像が生成されます。

注意: AUTO ADJUST (自動調整) オプションは、アナログ (VGA) コネクタを使用しているときのみ、利用可能です。</td></tr>
<tr><td></td><td>入力ソース</td><td>INPUT SOURCE(入力ソース)メニューを使って、異なるビデオ信号の間でモニタに接続するものを選択します。</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>
</td></tr>
<tr><td></td><td>戻る</td><td>を使ってメインメニューに戻ります。</td></tr>
<tr><td></td><td>VGA</td><td>アナログ(VGA)コネクタを使用しているとき、VGA入力を選択します。 を押して、VGA入力ソースを選択します。</td></tr>
<tr><td></td><td>DVI-D</td><td>デジタル(DVI)コネクタを使っているときは、DVI-D入力を選択します。 を押して、DVI入力ソースを選択します。</td></tr>
<tr><td></td><td>ソースのスキャン</td><td>「自動選択」を選択して使用できる入力信号をスキャンします。</td></tr>
<tr><td></td><td>ニューの終了</td><td>を押してOSDメインメニューを終了します。</td></tr>
<tr><td></td><td>色設定</td><td>Preset Mode(プリセットモード)を使って、色設定モードと色温度を調整します。
VGA/DVI-Dおよびビデオ入力の場合、さまざまな色設定サブメニューがあります。</td></tr>
<tr><td></td><td>色設定モードサブメニュー</td><td>
</td></tr>
<tr><td></td><td>戻る</td><td>を使ってメインメニューに戻ります。</td></tr>
</table>

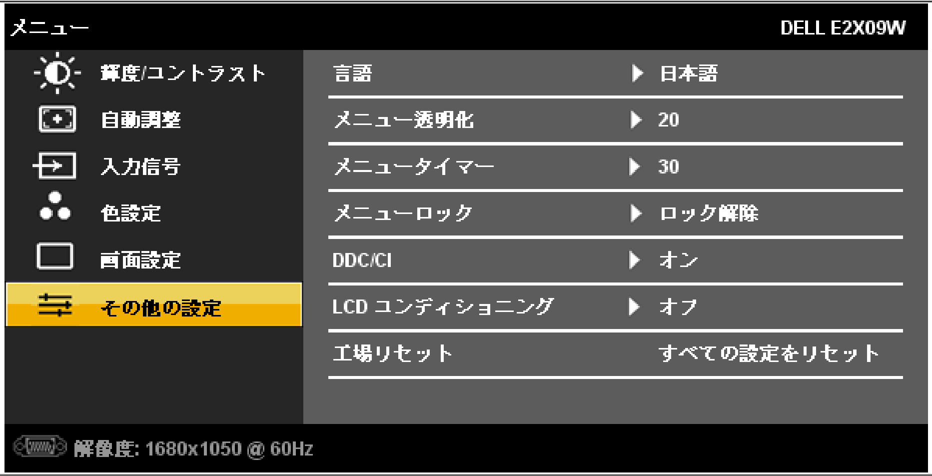
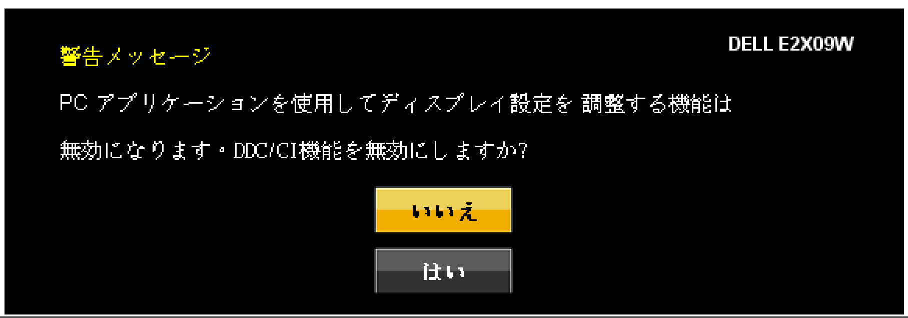
	入力カラー形式	入力モードを以下に設定できます。 • **RGB**: モニタがHDMIケーブルまたはHDMI対DVIアダプタを使ってコンピュータまたはDVDプレーヤーに接続されている場合、このオプションを選択します。 • **YPbPr**: DVDプレーヤーがYPbPr出力をサポートする場合、このオプションを選択してください。
	モード選択	ディスプレイモードを以下に設定できます。 • グラフィックス:モニタがコンピュータに接続されている場合、このモードを選択します。 • ビデオ:モニタがDVDプレーヤーに接続されている場合、このモードを選択します。 **注意:** 選択したディスプレイモードによって、モニタ変更で使用可能なプリセットモードは異なります。
	プリセットモード	プリセットカラーモードのリストから選択します。 グラフィックスモードで、色を次のプリセット値に設定できます。 • 標準:モニタのデフォルトの色設定を読み込みます。これは、デフォルトのプリセットモードです。 • マルチメディア:マルチメディアアプリケーションに理想的な色設定を読み込みます。 • ゲーム:ほとんどのゲームアプリケーションに理想的な色設定を読み込みます。 • 暖色:色温度を上げます。画面は赤/黄味が強くなって暖かく見えます。 • 冷色:色温度を下げます。画面は青味が強くなって冷たく見えます。 • カスタム(R、G、B): カスタム(R、G、B):色設定を手動で調整できます。 または ボタンを使って赤、緑、および青値を調整して独自のプリセット色モードを作成します。 ビデオモードで、色を次のプリセット値に設定できます。 • ムービー:ムービーに最適の色設定を読み込みます。これは、デフォルトのプリセットモードです。 • スポーツ:スポーツに最適の色設定を読み込みます。 • ゲーム: ゲームに最適の色設定を読み込みます。 • ネーチャー:ネーチャーに最適の色設定を読み込みます。
	色相	この機能で、ビデオ画像の色を緑または紫にシフトします。この機能を使って肌色を調整します。 または を使って色相を 0 から 100 までの範囲で調整します。 を押してビデオ画像のシェードを緑色にします を押してビデオ画像のシェードを紫色にします **注意:** 色相調整を使うことができるのは、ビデオ入力用だけです。
	彩度	この機能で、ビデオ画像の色彩度を調整します。 または を使って彩度を 0 から 100 までの範囲で調整します。 を押してビデオ画像のアピアランスをモノトーンにします を押してビデオ画像のアピアランスををカラーにします **注意:** 彩度調整を使うことができるのは、ビデオ入力用だけです。
	カラーリセット	モニタの色設定を工場出荷時のデフォルト設定にリセットします。
	ニューの終了	を押してOSDメインメニューを終了します。
	ディスプレイ設定	
	ディスプレイ設定モードサブメニュー	**VGA**入力の場合の画像設定サブメニュー

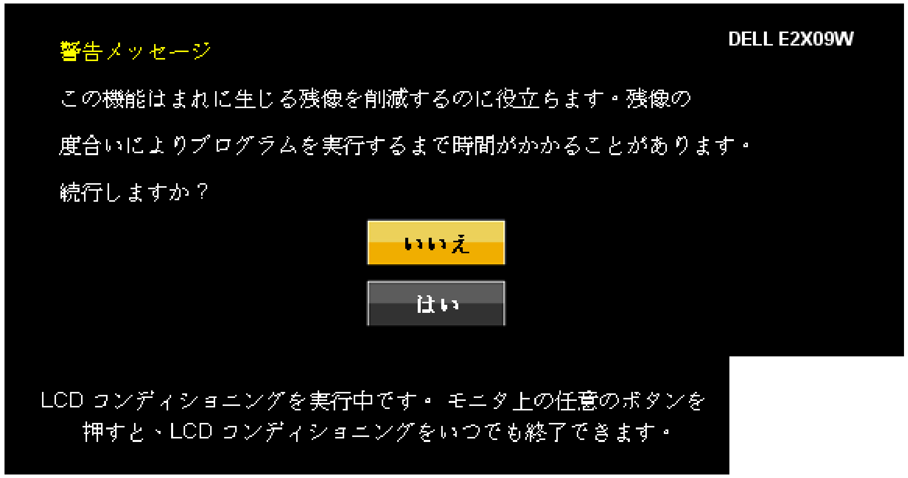
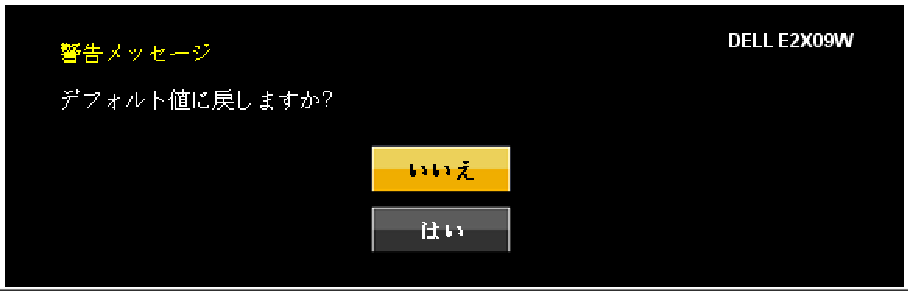


DVI-D入力の場合の画像設定サブメニュー



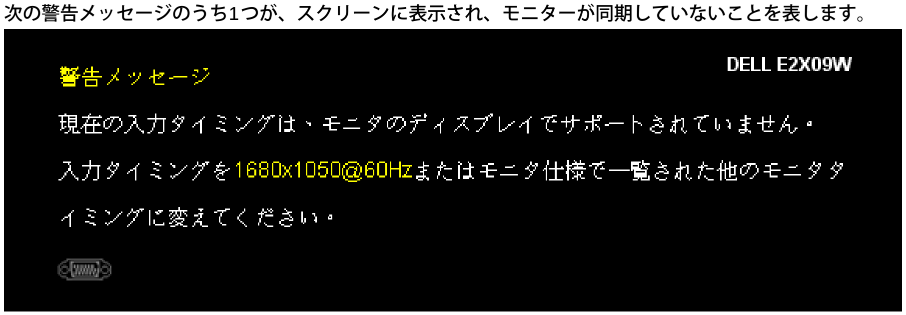
	戻る	を使ってメインメニューに戻ります。
	水平位置	または ボタンを使って、画像を左または右に調整します。最小値は「0」(-)です。最大値は「100」(+)です。 注意: DVIソースを使用しているとき、水平設定は使用できません。
	垂直位置	または ボタンを使って、画像を上または下に調整します。最小値は「0」(-)です。最大値は「100」(+)です。 注意: DVIソースを使用しているとき、垂直設定は使用できません。
	シャープネス	この機能により、画像はシャープにまたはソフトに表示されます。 または を使って、「0」から「100」までシャープネスを調整します。
	ピクセルクロック	ピクセルクロックおよびフェーズ調整で、モニターをお好みにあわせ調整することができます。 または ボタンを使って、最高の画像品質になるように調整します。
	フェーズ	フェーズ調整を使った結果がよくない場合、ピクセル·クロック（粗い）を使い、次にフェーズ（細かい）をもう一度使います。 注意: ピクセルクロックとフェーズ調整は、「VGA」入力の場合のみ使用できます。
	画像プリセット	ディスプレイ設定を向上出荷時デフォルトにリセットします。
	ニューの終了	を押してOSDメインメニューを終了します。
	その他の設定	

	
戻る	を使ってメインメニューに戻ります。
言語	言語オプションで、 7 つの言語（英語、スペイン語、フランス語、ドイツ語、ブラジルポルトガル語、日本語、簡体字中国語）から 1 つの言語を選択して、OSD ディスプレイを設定します。
メニューの透明性	この機能は、OSD 背景を不透明から透明に変更するのに使います。
メニュータイマ	OSDホールド時間時間の長さを設定すると、OSDはボタンを最後に押した後に有効になります. または ボタンを使って、1～60秒までで、5秒ずつスライダーを調整します。
メニューロック	調整に対するユーザアクセスを管理します。［ロック｝を選択した場合、ユーザ調整はできません。 ボタン以外、ボタンはすべてロックされます。 **注意:** OSDがロックされいてる場合、メニューボタンを押すと、OSDロックを選択した状態で、ユーザは直接OSD設定メニューに進みます。 ［いいえ］ を選択して、ロック解除して、ユーザは適用可能なすべての設定にアクセスできます。
DDC/CI	DDC/CI (表示データチャンネル/コマンドインターフェース)で、PC上のソフトウェアアプリケーションを使って、モニターパラメータ (明るさ、配色等)を調整できます。 「無効にする」を選択してこの機能を無効にできます。次の警告メッセージが表示されます: DDC/CI を無効にするには「はい」を選択します。変更せずに終了するには「いいえ」を選択します。 **注意:** この機能を有効にして、モニターを最適な状態、最高の機能でお使いください。 
LCD条件設定	この機能で、程度の軽い残像を低減します。 モニターに画像が残る場合は、**LCD** コンディショニングを選択して残像を低減します。LCD コンディショニング機能を使うと時間が掛かることがあります。残像がひどい状態は「焼き付き」と呼ばれます。LCD コンディショニング機能では焼き付きは解決できません。 **注意:** LCD コンディショニングは、残像がある場合にのみ使います。 ユーザーが LCD コンディショニングを「有効にする」にすると、次の警告メッセージが表示されます。

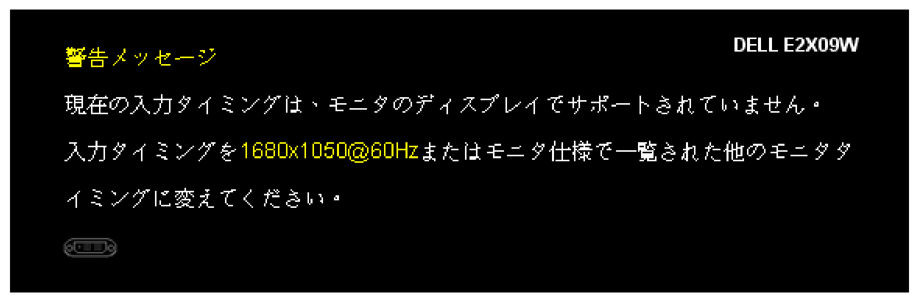
		 **注意:** LCD コンディショニングを終了するには、モニターのいずれかのボタンを押します。
	工場リセット	OSDメニュー･オプションを工場出荷時事前設定値にリセットします。 
	ニューの終了	 を押してOSDメインメニューを終了します。

OSD警告メッセージ

次の警告メッセージのうち1つが、スクリーンに表示され、モニターが同期していないことを表します。

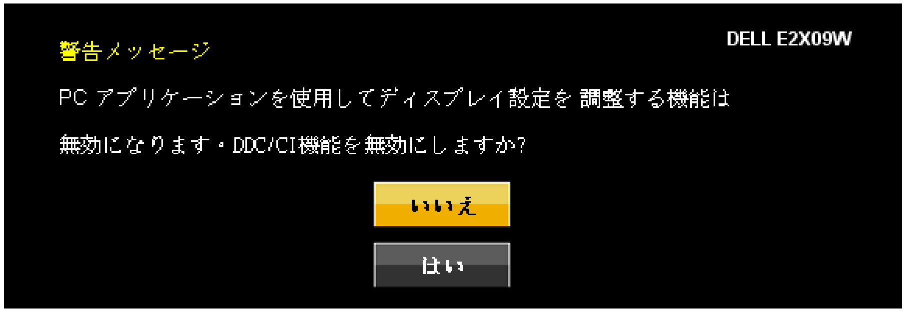


または



これは、モニターがコンピュータから受信している信号と同期できないことを意味します。このモニターが使用できる水平および垂直周波数幅については、モニター仕様 を参照してください。推奨モードは、1680 X 1050です。

DDC/CI機能が無効になる前に、次のメッセージが表示されます。



モニタが省電力モードに入ると、次のメッセージが表示されます。



コンピュータを有効にしてモニターを立ち上げ、**OSD**にアクセスします。

VGAまたはDVI-D入力が選択されているがVGAとDVI-Dケーブルが接続されていない場合、以下のような浮動ダイアログボックスが表示されます。



または



詳細は、問題を解決する を参照してください。

最適解像度を設定する

モニタを最適の解像度に設定するには、

□□□ デスクトップを右クリックして、プロパティを選択します。
□□□ 設定タブを選択します。
□□□ 画面解像度を1680 x 1050に設定します。
□□□ **OK**をクリックします。

オプションとして1680 x 1050がない場合は、グラフィック・ドライバを更新する必要があります。 コンピュータによっては、以下の手順のいずれかを完了してください。

- Dellデスクトップまたはポータブル・コンピュータをご使用の場合：
  - **support.dell.com**に進み、サービス・タグを入力し、グラフィックス・カードに最新のドライバをダウンロードします。
- Dell以外のコンピュータ（ポータブルまたはデスクトップ）をお使いの場合：
  - コンピュータのサポートサイトに進み、最新のグラフィックス・ドライバをダウンロードします。
  - グラフィックス・カード･ウェブサイトに進み、最新のグラフィックス・ドライバをダウンロードします。

Dellサウンドバー（オプション）を使う

Dellサウンドバーは Dellフラットパネルディスプレイの取り付けに適した2つのチャンネルシステムから成っています。



1. 電源/音量調節
2. 電源インジケータ
3. ヘッドフォン・コネクタ

チルトを使う



モニターを傾けて、最も見やすい角度に調整できます。

目次ページに戻る

[目次ページに戻る](#)

問題を解決する

Dell™ E2009W/E2209W フラットパネルモニタユーザーズガイド

警告: このセクションで手続きをはじめる前に、 安全指示書にしたがってください

モニタのトラブルシューティング

自己テスト機能チェック（SIFC）

お使いのモニターには、自己テスト機能が装備され、適切に機能しているかどうかを確認できます。 モニターとコンピュータが適切に接続されていて、モニタースクリーンが暗い場合は、次の手順でモニター自己テストを実行してください：

□□□ コンピュータとモニター両方の電源をオフにする。
□□□ コンピュータの後ろかビデオ・ケーブルを外す。 自己テストが適切に運用できるようにするには、コンピュータの後ろからデジタル（白コネクタ）とアナログ（黒コネクタ）ケーブル両方を外します。
□□□ モニターの電源をオンにする。

モニタがビデオ信号を検知できないが正しく作動している場合、画面に浮動ダイアログボックスが (黒い背景に) 表示されます。自己テストモードに入っている間、電源 LED は青く表示されています。また、選択した入力によっては、以下に示したダイアログボックスの 1 つが画面を連続してスクロールします。



または



□□□ ビデオ·ケーブルが外されているか、または破損している場合、通常システムの運転中、このボックスが表示されます。
□□□ モニターの電源をオフにして、ビデオ・ケーブルを再接続し、次にコンピュータとモニター両方の電源をオンにします。

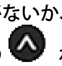
前の手順を行った後もモニター·スクリーンに何も表示されない場合、ビデオ・コントローラおよびコンピュータ·システム、およびモニターが適切に機能していることをチェックしてください。

内蔵診断

モニターには内蔵の診断ツールが付属しており、発生している画面の異常がモニターに固有の問題か、またはコンピュータシステムやグラフィックカードに固有の問題かを判断します。

注意： 内蔵の診断は、ビデオケーブルがプラグから抜かれ、モニターが自己テストモードに入っているときのみ、実行できます。

内蔵診断を実行するには、以下の手順に従います。

□□□ 画面がきれいであること(または、画面の表面に塵粒がないこと)を確認します。
□□□ コンピュータの後ろかビデオ・ケーブルを外します。 モニターが自己テストモードに入ります。
□□□ 正面パネルの  と  ボタンを2秒間同時に押し続けます。 グレイの画面が表示されます。
□□□ 画面に異常がないか、慎重に検査します。
□□□ 正面パネルの  ボタンを 再び押します。 画面の色が赤に変わります。
□□□ ディスプレイに異常がないか、検査します。
□□□ ステップ5と6を繰り返して、緑、青、白い色の画面についてもディスプレイを検査します。

白い画面が表示されると、テストは完了です。 終了するには、  ボタンを再び押します。

内蔵の診断ツールを使用しているときに画面に異常が検出されない場合、モニターは適切に作動しています。 ビデオカードとコンピュータをチェックしてください。

一般的問題

次の表には、発生する可能性のあるモニタのよくある問題と考えられる解決策に関する一般情報が含まれます。

一般症状	問題の説明	解決方法
ビデオなし/電	画像なし、モニターが無効	• コンピュータにモニタを接続しているビデオケーブルが適切に接続され、しっかり固定されていることを確認します • 電気装置を適切に使って、電源差込口が機能していることを確認します。

源LEDオフ		電源ボタンが完全に押されていることを確認します。
ビデオなし/電源LEDオン	画像なし、または明るさがない	• OSDによって、明るさとコントラスト・コントロールを調整します。 • モニター自己診断テスト機能チェックを実行します。 • ビデオケーブルコネクタに曲がったり破損したピンがないか、チェックします。 • 内蔵診断を実行します。
フォーカスが弱い	画像が不鮮明か、ぼやけているか、または薄れている。	• OSDによって自動調整を実行します。 • OSDによって、位相とピクセルクロック制御を調整してください。 • ビデオ拡張ケーブルを外します。 • モニタを工場出荷時設定にリセットします。 • ビデオ解像度を正しいアスペクト比(16:10)に変更します
ビデオが揺れたり/ずれたりする	画像が波打ったり、微妙にぶれる	• OSDによって自動調整を実行します。 • OSDによって、位相とピクセルクロック制御を調整してください。 • モニタを工場出荷時設定にリセットします。 • 環境係数をチェックします • モニタの場所を変えて、他の部屋でテストします。
ピクセルが抜けている	液晶画面に黒い点が見つかる	• サイクル電源オン - オフ • 永久的にオフになっているピクセルがありますが、これはLCDテクノロジに固有の欠陥です。 • 内蔵診断を実行します。
常時点灯する画素	液晶画面に光る点がある	• サイクル電源オン - オフ • 永久的にオフになっているピクセルがありますが、これはLCDテクノロジに固有の欠陥です。 • 内蔵診断を実行します。
明るさの問題	画像が薄すぎるか、明るすぎる	• モニタを工場出荷時設定にリセットします。 • OSDによって自動調整を実行します。 • OSDによって、明るさとコントラスト・コントロールを調整します。
幾何歪曲	スクリーンが正確にセンタリングされていない	• モニタを工場出荷時設定にリセットします。 • OSDによって自動調整を実行します。 • OSDによって、明るさとコントラスト・コントロールを調整します。 注意: 「2: DVI-D」を使用しているとき、位置決め調整はご利用いただけません。
水平/垂直ライン	スクリーンに複数の線が入る	• モニタを工場出荷時設定にリセットします。 • OSDによって自動調整を実行します。 • OSDによって、位相とピクセルクロック制御を調整してください。 • モニター自己テスト機能チェックを行い、これらの線が自己テスト･モードでも入るかどうかを確認します。 • ビデオケーブルコネクタに曲がったり破損したピンがないか、チェックします。 • 内蔵診断を実行します。 注意: 「2: DVI-D」を使用しているとき、ピクセルクロックとフェーズ調整はご利用いただけません。
同期問題	スクリーンがスクランブル状態か、磨り減って見える	• モニタを工場出荷時設定にリセットします。 • OSDによって自動調整を実行します。 • OSDによって、位相とピクセルクロック制御を調整してください。 • モニター自己テスト機能チェックを行い、これらの線が自己テスト･モードでも入るかどうかを確認します。 • ビデオケーブルコネクタに曲がったり破損したピンがないか、チェックします。 • セーフモードでコンピュータを再起動します。
安全関連問題	スモークまたはスパークの明らかな症状	• トラブルシューティング手順を実行しないでください。 • 直ちにDellにご連絡ください。
断続的問題	モニターの誤作動をオンおよびオフ	• コンピュータにモニタを接続しているビデオケーブルが適切に接続され、しっかり固定されていることを確認します • モニタを工場出荷時設定にリセットします。 • モニター自己テスト機能チェックを行い、これらの線が自己テスト･モードでも入るかどうかを確認します。
スタックオンピクセル	画像の色が欠けている	• モニタの自己テスト機能チェックを実行します。 • コンピュータにモニタを接続しているビデオケーブルが適切に接続され、しっかり固定されていることを確認します。 • ビデオケーブルコネクタに曲がったり破損したピンがないか、チェックします。
色違い	画像の色が正しくない	• 色設定OSDで、アプリケーションに応じて、色設定モードをグラフィックスまたはビデオに変更します。 • 色設定OSDで異なる色プリセット設定を試みます。色管理がオフになっている場合、色設定OSDでR/G/B値を調整します。 • アドバンス設定OSDで、入力色形式をPC RGBまたはYPbPrに変更します。 • 内蔵診断を実行します。
長時間モニタに静止画像を表示したために起こる画像の焼き付き	静止画像からのかすかな影画面にディスプレイが表示されます	• 電源管理機能を使用して、使用していないときは常にモニタの電源をオフにしてください.また、ダイナミックに変更するスクリーンセーバーを使用します長期間モニタに残ります.(詳細については、電源管理モード参照してください). • または、動的に変わるスクリーンセーバーを使用します。

製品別の問題

特定の症状	現況	解決方法
スクリーン画像が小さい	画像がスクリーン上でセンタリングされているが、全表示領域を満たしていない	• 画像設定OSDで、スケーリング比設定を確認します。 • モニタを工場出荷時設定にリセットします。
正面パネル上のボタンで、モニターを調整できない	OSDがスクリーン上に表示されない	• モニターの電源をオフにして、電源コードを外し、もう一度コードを差して、電源を入れます。
ピクチャが画面全体に表示されない。	ピクチャを画面の高さまたは幅いっぱいに表示できない。	• DVDの異なるビデオ形式により、モニタが全画面で表示できないことがあります。

注意: DVI-D モードを選択しているとき、**Auto Adjust** (自動調整) 機能はご利用になれません。

目次ページに戻る

[目次ページに戻る](#)

付録

Dell™ E2009W/E2209W フラットパネルモニタユーザーズガイド

警告: 安全指示

警告: このマニュアルで指定された以外のコントロール、調整、または手順を使用すると、感電、電気的障害、または機械的障害を招く結果となります

安全に関する注意事項については、製品情報ガイドを参照してください。

米国連邦通信委員会(FCC)通告（米国内のみ）およびその他規制に関する情報

米国連邦通信委員会(FCC)通告（米国内のみ）およびその他規制に関する情報に関しては、規制コンプライアンスに関するウェブページ http://www.dell.com/regulatory_complianceをご覧ください。

Dellへのお問い合わせ

米国のお客様の場合、**800-WWW-DELL (800-999-3355)**にお電話ください。

注意: インターネット接続をアクティブにしていない場合、仕入送り状、パッキングスリップ、請求書、またはDell製品カタログで連絡先情報を調べることができます。

Dellでは、いくつかのオンラインおよび電話ベースのサポートとサービスオプションを提供しています。利用可能性は国と製品によって異なり、お客様の居住地域によってはご利用いただけないサービスもあります。**Dell**の販売、技術サポート、または顧客サービス問題に連絡するには**:**

1. **support.dell.com** にアクセスします。
2. ページ下部の **Choose A Country/Region [**国/地域の選択**]** ドロップダウンメニューで、居住する国または地域を確認します。.
3. ページ左側の **Contact Us [**連絡先**]** をクリックします。
4. 必要に応じて、適切なサービスまたはサポートリンクを選択します。
5. ご自分に合った Dell への連絡方法を選択します。

[目次ページに戻る](#)